

人権について考えよう

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより
12月13日 第15号
文責 校長 山下



毎年、人権デーである12月10日を最終日とする一週間(4日から10日)を人権週間とし、本校ではこの期間を中心に人権学習を行っています。
今年度は、各学年のテーマに基づいて人権学習を行い、2日の人権集会で発表しました。1年生は「身近な差別」について考え、一人ひとりが人権メッセージを読み上げました。2年生は、「同和問題」について学習し、身分階層構造に基づく差別が現代社会にも続いており苦しんでいる人を知り、絶対に許されないことを確認しました。3年生

は「現代社会の差別」として、LGBTなど性的多様性について認め合う社会でなければならぬことを訴えました。また、堀実行委員長の挨拶の後、実行委員が人権劇「仲間」を披露し、一人ひとりを認め合うことの大切さについて考えさせられました。私からは、童謡「さつさん」の作者である「まど・みちおさん」の思いをもとに、次のような話をしました。
「まどさんは生前のインタビューで、『この歌は、象に生まれて嬉しいソウの歌と思われたがっているのですね。鼻の長さが違うから、耳の長さが違うから、目の色が違うからなど、違うからすばらしい。違うから仲良くしたい。違うから仲良くしたい。違いを認め合いたい。違いを認め合いたいです。』と答えています。違いを認め合いたいです。』
最後に、金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」の詩を紹介しました。



＜実行委員 人権劇「仲間」＞



＜2年生の発表＞



＜1年生の発表＞ < 3年生の発表 >

農地保全作業

御協力ありがとうございました

5日には農地保全作業を行いました。今年度は、小学校と同日に実施しましたが、多くの保護者の皆様に御協力いただきました。昨年度に引き続き、側溝の除草及び泥上げという過酷な作業内容でしたが、子どもたちのために最後まで熱心に作業していただきました。お忙しい中、本当にありがとうございました。

赤い羽根共同募金に協力しました

生徒会執行部が中心となって募金活動を行いました。全校生徒及び全教職員を合わせて8448円の募金が集まりました。崎山中を代表して、生徒会執行部から社会福祉協議会の方に手渡しました。御協力ありがとうございました。



崎山小・中学校支援会議から

11月30日、第2回崎山小・中学校支援会議を開催しました。先日のPTAでもお知らせしましたが、次年度からは、学校支援会議を学校運営協議会へ移行する準備を進めています。詳しくは、次号で説明しますが、これまで以上に学校と家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの教育を進めていこうとする制度です。



＜熟議の様子＞

お知らせ

- 12月18日(土) 空き瓶回収
- 12月23日(木) 生徒会退任式
- 12月24日(金) 第2学期終業式

空き瓶回収について

12月18日(土)10時から空き瓶回収を行います。昨年度はコロナ禍の影響でできませんでした。生徒数減少もあり、学校全体での空き瓶回収は今年度で最後にしたいと思います。御協力よろしくお願ひします。

私と小鳥と鈴と

金子みすゞ

私が両手をひろげて、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のやうに
地面を速くは走れない。
私がかからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のやうに
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。